

泌尿器科においてネクサバル®、スーテント®、インライタ®、ヴォトリエント®、  
ザイティガ®、イクスタンジ®が処方された患者さんへご協力をお願い

東京歯科大学市川総合病院薬剤部では「外来における経口抗がん薬初回導入患者への薬剤師介入の有用性」という臨床研究を行っております。この研究は当院泌尿器科における経口抗がん薬、ネクサバル®、スーテント®、インライタ®、ヴォトリエント®、ザイティガ®、イクスタンジ®が初めて処方された患者さんを対象に薬剤師が関わることでの有用性を示すことを主な目的としています。そのため、泌尿器科にて上記薬剤の治療を受けた患者さんの電子カルテの情報を使用させていただきたいと考えております。

この研究は東京歯科大学市川総合病院倫理審査委員会で審査され、病院長の許可を得て実施しております。

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景及び目的

近年、抗がん薬の進歩に伴い、経口抗がん薬での治療が増えています。しかし外来において経口抗がん薬が開始された場合、薬剤師が関わるることができないことがあります。そこで外来で経口抗がん薬が初めて処方されたすべての患者さんに指導を行うことを目的とし、薬剤師へ抗がん薬の指導を依頼するように文書を作成し、院内に周知しました。

今回は泌尿器科において周知前後での経口抗がん薬の指導依頼件数の変化と薬剤師が関わることによる成果について調査することで、薬剤師が関わることの有用性を示すことが本研究の目的です。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

外来で抗がん薬の治療を行う患者さんに薬剤師が関わることでの有用性を明らかにすることにより、さらに薬剤師によるがん患者指導を充実させて、患者さんにとって抗がん薬に対する有効性・安全性を向上させることが本研究の意義です。

## 2. 研究の方法

### 1) 対象者

2017年1月～2017年10月に当院泌尿器科において経口抗がん薬、ネクサバル®、スーテント®、インライタ®、ヴォトリエント®、ザイティガ®、イクスタンジ®が初めて処方された方。

## 2) 研究方法

電子カルテを使用しネクスバール®、スーテント®、インライタ®、ヴォトリエント®、ザイティガ®、イクスタンジ®の治療を受けた患者さんに対して薬剤師が関わった内容について調べます。

## 3) 使用する情報

電子カルテから以下の情報を使用させていただきますが、あなたの個人を特定できる情報は削除し、匿名化して、個人情報漏洩しないように致します。

(使用する情報)

- ・年齢・性別
- ・既往歴
- ・常用薬
- ・血液検査データ
- ・抗がん薬の処方歴
- ・薬剤師が関わった内容（薬剤の変更や追加の提案、B型肝炎検査の依頼）

## 4) 情報の取り扱い

得られた患者さんの情報はパスワードで制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な場所に保存します。また、研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間保存させていただいた後に適切に廃棄致します。

## 5) 費用

この研究に参加することで通常の診療費用と比べて負担が増えることはありません。また、情報を使用させていただいた患者さんへの謝金等ありません。

## 6) 結果の公表

研究の結果については、学会や専門誌等に発表されることがありますが、個人を特定できるような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

## 7) 研究計画書の開示

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究計画の試料等を閲覧または入手することができます。

## 8) その他

この研究に対しては、いかなる機関からの資金提供もございません。(利益相反はありません。)

あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合は、お手数

ですが、お申し出ください。ご了承いただけない場合でも、診療等の病院サービスにおいて患者さんへ不利益が生じることはございません。そのほか、ご質問等ありましたら、遠慮なくお問い合わせください。

<問い合わせ先>

〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

東京歯科大学市川総合病院

電話： 047-322-0151

(研究責任者)

薬剤部 赤荻 立昇